

2-5-2 地域

ボランティア活動活性化ツールに関する実態調査

ボランティア活動活性化ツール（以下「V活動ツール」という。別紙1を参照）について、以下の問いにお答え下さい。（本調査では、地域通貨によるたすけあい活動もボランティア活動に含めています）

※該当する番号に○を付けてください

質問1 貴組織の種別をお答えください。

1. 社会福祉協議会	2. 自治体(教育委員会を除く)	3. 教育委員会	4. 企業
5. NPO(任意団体含む)	6. 生協/農協	7. その他()	

質問2 貴組織の所在地を都道府県でお答えください。

質問3 V活動ツールの活用の有無に関わらず、貴組織のボランティア活動への取り組み期間についてお答えください。（ ）内については、該当欄に数字を記入するか、現在に至るに○を付けてください。（西暦でお答えください）

年 月 から 年 月 まで または 現在に至る

質問4 V活動ツールの活用状況についてお答えください(平成15年12月現在)

1. 活用している	2. 現在は活用していない(⇒6ページの質問6へ)
-----------	---------------------------

質問5 質問4で「1.活用している」と答えた方に質問します。V活動ツールの活用内容について、以下の①～④にお答えください。

①V活動ツールを活用した理由(きっかけ)は何か。各設問ごとに、その理由の度合いをお答えください。

※判断基準(各設問ごとに、この判断基準を基にして○を付けてください)

- 大きな理由となった
- 理由になった
- あまり理由にはならなかった
- まったく理由にはならなかった

	1	2	3	4
1. ボランティア活動への参加者を増やしたから				
2. ボランティア活動の参加者の意欲をさらに高めたから				
3. 参加者のボランティア活動の記録になると思ったから				
4. 地域経済の活性化を図りたから				
5. 地域住民同士のコミュニケーションを活性化したから				
6. 地域とのつながりを強めたから				
7. 外部の機関・団体から薦められたから				

※その他の理由・きっかけがあれば、お答えください。

②V活動ツールの名称は何ですか。

③V活動ツールをいつ頃から活用していますか。(西暦でお答えください)

年 月 より

④V活動ツールの利用は、組織内部から提案されましたか、組織外部から提案されましたか。また、具体的な提案者についてお答えください。

1. 組織内部から	2. 組織外部から			
→ 1. 組織内部の場合				
1. 組織のトップ	2. 管理職	3. ボランティア担当者	4. 会員(参加者)	5. その他()
→ 2. 組織外部の場合				
1. 行政	2. 社会福祉協議会	3. その他()		

⑤V活動ツールはどのような形態ですか。「3.地域通貨」については該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

1. バスポート(手帳)タイプ	
2. カードタイプ	
3. 地域通貨	
4. 表紙状	
5. その他()	

地域通貨の具体的な方式は何か。(複数回答可)

1. 通帳方式	2. 紙券方式	3. チップ方式	4. 借付書方式
5. バンコン記録・管理方式	6. ICカード管理方式	7. その他()	

⑥V活動ツールの配布対象者をお答えください。(複数回答可)

1. 会員(参加者)	2. ボランティア登録者	3. 一般	4. 他の組織
5. その他特定の対象者()			

⑦V活動ツールは、全員(全組織)に配布されていますか、希望者(希望組織)のみに配布されていますか。

1. 全員(全組織)	2. 希望者(希望組織)のみ
------------	----------------

⑧V活動ツールの配布数についてお答えください。地域通貨の場合は登録者数をお答えください。(概数で結構です)

平成14年度(平成14年4月から平成15年3月)は計 (部・枚・人)

平成15年度(平成15年4月から12月末現在)は計 (部・枚・人)

⑨V活動ツールを活用するために、利用者が負担しなければならぬ費用をお答えください。(概数回答可)

1. 負担はない	2. ツール購入費用(円)	3. 入会金(円)	4. 会費(円)
----------	----------------	------------	-----------

⑩V活動ツールは、どのような活動が対象となりますか。(概数回答可)

1. ボランティア活動全般	2. 福祉関係の活動	3. 環境関係の活動
4. 国際協力関係の活動	5. たすけあい活動	6. その他()

⑪V活動ツールには、どのような内容が掲載・添付されていますか。(概数回答可)

1. V活動ツールの概要・説明	
2. カレンダー	
3. ボランティア活動の手引き・案内・注意事項	
4. 地域の活動団体一覧	
5. 広域の活動団体一覧	
6. ボランティア活動誌録簿	
7. シール貼付・スタンプ押印簿	
8. ボランティア活動証明書	
9. 活動メニュー一覧	
10. その他()	

⑫V活動ツールには、どのような事例を記録することができますか。(概数回答可)

1. 活動日	2. 活動時間	3. 活動した人、受け手	4. 活動内容
5. 活動回数	6. 活動場所	7. 活動誌録簿はない	8. その他()

⑬ボランティア活動の達成基準がありますか。(概数回答可)

1. 回数	2. 時間数	3. 内容	4. 特に達成基準はない
5. その他()			

⑭V活動ツールには、どのようなインセンティブ(ボランティア活動を活性化するための誘因)が付けられていますか。その具体的な内容もお書きください。(概数回答可)

1. シール・スタンプ	2. 割引・賞品等の特典	3. 表彰	4. 認定
5. 寄附につながる	6. 地域通貨	7. 特になし	8. その他()

※具体的な内容

⑮V活動ツールは貴組織独自で作成したものですか。

1. 独自で作成した	2. 他の組織が作成したものを活用させてもらった
3. 他の組織から利用を依頼された	4. その他()

⑯V活動ツールを活用して、どのような成果がありましたか。各設問ごとに、その成果の度合いをお答えください(回答が困難なものについては、回答されなくても結構です)。

※評価基準(各設問ごとに、この評価基準を基にして○を付けてください)

1. 大変成果があった
2. 成果があった
3. あまり成果が上がりなかった
4. まったく成果が上がりなかった

1. ボランティア活動の参加者が増えた	1	2	3	4
2. ボランティア活動の参加者同士のコミュニケーションが活性化した	1	2	3	4
3. 参加者の意欲が高まったり、ボランティア活動が盛んになった	1	2	3	4
4. 周囲から自分たちのボランティア活動への理解が深まった	1	2	3	4
5. 組織内部の人の理解・協力が得られるようになった	1	2	3	4
6. 地域の理解・協力が得られるようになった	1	2	3	4
7. 行政の理解・協力が得られるようになった	1	2	3	4
8. 企業の理解・協力が得られるようになった	1	2	3	4
9. ボランティア活動の質が高まった	1	2	3	4
10. 活動範囲が広くなった	1	2	3	4
11. 活動の種類が増えた	1	2	3	4
12. 運営協力者が増えた	1	2	3	4
13. ボランティア活動への資金等の援助が増えた	1	2	3	4
14. 地域経済が活性化した	1	2	3	4

※その他(ご自由にお書きください)

⑩ V活動ツールを活用するにあたり、苦労した点・工夫した点についてお答えください。
最も苦労した点・工夫した点について3つまで○を付けてください。

1. 資金の調達	2. しくみづくり	3. 参加者の募集	4. 参加者への周知
5. 組織内部への周知	6. 活動の継続	7. 他の組織との連携	8. 地域との連携
9. 行政との連携	10. 企業との連携	11. 学校との連携	
12. ボランティア活動情報の収集	13. ボランティア受け入れ団体との連絡・調整		
14. その他()			

※また、上記の問題についてどのように工夫・解決したか、回答番号ごとにお書きください。

回答番号 について

[]

回答番号 について

[]

回答番号 について

[]

⑪ V活動ツールの活用状況を把握するためにどのような工夫をしていますか。

1. 定期的に確認している
2. 取り組み期間の最後に一度だけ確認している。
3. 配布するだけで特に何もしていない
4. その他()

⑫ 総合的にみて、V活動ツールの成果に満足されていますか。

1. 大変満足している	2. 満足している	3. あまり満足していない
4. まったく満足していない		

※その理由について、お書きください。

[]

⑬ 現在使用しているV活動ツールについて、今後、改善・追加できればよいと思う内容や
インセンティブについてお答えください。さらに、その具体的な案があればお書きくだ
さい。(複数回答可)

1. V活動ツールの概要・説明	2. カレンダー
3. ボランティア活動の手引き・案内・注意事項	4. 地域の活動団体一覧
5. 広域の活動団体一覧	6. ボランティア活動誌掲載
7. シール貼付・スタンプ押印欄	8. シール・スタンプのやり方
9. ボランティア活動証明欄	10. 割引・賞品等の特典
11. 表彰制度の導入	12. 認定制度の導入
13. 寄附団体の募集やその寄附状の査定・選択	14. 地域通貨の形態の変更
15. 地域通貨の流通のしくみの変更	16. 特になし
17. その他()	

※具体的な案

[]



※ 回答後は質問7へ

質問6 質問4で「現在は活用していない」と答えた方に質問します。V活動ツールを中止した理由
についてお答えください。(複数回答可)

1. 成果がなかった	2. 予算がなくなった	3. 方針が変わった
4. 目的を達成した	5. 担当者がいなくなった	
6. 単年度だけの取り組みだった	7. 試験的な取り組みだった	
8. その他()		

※「1. 成果がなかった」に回答された方は、その原因をお書きください。

[]

※「4. 目的を達成した」に回答された方は、どのような目的をどのように達成したかお書き
ください。

[]

＜ ここからは全員の方がお答えください ＞

質問7 今、お使いのものにこだわらず、どのようなV活動ツールがあるかと思いませんか。
(複数回答可)

1. ボランティア活動をして一定数の記録がたまったら、評価(表彰、認定等)をしてもらえる。	達成する	達成しない
2. 楽しんで記録ができるように、いっしょにシールも貼れる。	達成する	達成しない
3. シール貼付については、楽しく貼れるシグソナーズやすごろくなどのゲーム性を持たせる。	達成する	達成しない
4. V活動ツールを提示するだけで、商店やイベント等の割引やチケットの優先購入ができる。	達成する	達成しない
5. V活動ツールを活用すると自分の応援したいボランティア団体へ支援企業・団体が一定額の寄付してくれる。	達成する	達成しない
6. ボランティアをしたことだけでなく、相手からしてもらったこと(相手のボランティア活動)を記録することもできる。	達成する	達成しない
7. 有料でもよいので体裁がよく、多くの人が使いたいと思うようなものにする。	達成する	達成しない
8. 携帯電話やインターネットを使ったポイント管理のシステムを考える。	達成する	達成しない
9. 特になし	達成する	達成しない

※その他、新しいアイデア等があればお書きください。

質問8 ボランティア活動の推進、もしくは活性化に関する以下のような考え方や手法等に賛成ですか。全質問に対して「賛成する」「賛成しない」のどちらかに○を付けてください。

＜ボランティア一般について＞

(1) ボランティア活動は自主的に取り組むべきものである。	達成する	達成しない
(2) 楽しくなければボランティア活動ではない	達成する	達成しない
(3) ボランティア活動は積極的に表彰すべきだ。	達成する	達成しない
(4) ボランティア活動をしたら、それを積極的にPRすべきだ。	達成する	達成しない
(5) ボランティア活動の最初のきっかけは、報酬等を目的にしたものでもよい。	達成する	達成しない
(6) ボランティア活動をしたことに対して報酬等を用意してもよい。	達成する	達成しない
(7) ボランティアを強調することには抵抗がある。	達成する	達成しない
(8) 勤労者には時間的なゆとりがないので、ボランティア活動に参加させることは難しい。	達成する	達成しない
(9) ボランティア組織の実際の運営には、どちらかと言えば、意欲よりマネージメント能力の方が重要だ。	達成する	達成しない
(10) ボランティア活動を行政はもっと支援すべきだ。	達成する	達成しない
(11) ボランティアの仲間づくりは、結局口コミが最も有効だ。	達成する	達成しない
(12) 「ボランティアはちょっとカッコいい」というイメージを広めたほうが効果がある。	達成する	達成しない
(13) ボランティア活動の実績が、就職や進学に際して評価されるとよい。	達成する	達成しない

＜子どもたちのボランティアについて＞

(14) ボランティア活動は、子どもたちに社会のルールやマナーを教える上で有効だ。	達成する	達成しない
(15) 親子参加型のボランティア活動をもっと推進すべきである。	達成する	達成しない
(16) 大学生や高校生を、小中学生ボランティアの指導者として育成したらよい。	達成する	達成しない
(17) 放課後や休日のボランティア活動を進めるためには、もっと積極的に学校開放をすべきだ。	達成する	達成しない
(18) ボランティア活動を子どもに勧める前に、大人が体験すべきだ。	達成する	達成しない
(19) 子どもたちにはボランティア活動の機会を意図的に提供したほうがよい。	達成する	達成しない

＜V活動ツールについて＞

(20) ボランティア活動の推進にはV活動ツールがあったほうがよい。	達成する	達成しない
(21) V活動ツールは使って楽しいものにするべきだ。	達成する	達成しない
(22) 大人も子どもと一緒に使える共通のV活動ツールがあるとよい。	達成する	達成しない
(23) V活動ツールの配布は、希望者だけに限定すべきではない。	達成する	達成しない
(24) V活動ツールには活動の精神を盛り込むべきだ。	達成する	達成しない
(25) 活動を記録できるV活動ツールは、その利用状況を定期的に確認すべきだ。	達成する	達成しない
(26) 一緒にV活動ツールを使う仲間、団体を増やすべきだ。	達成する	達成しない
(27) V活動ツールの対象となる活動内容は限定したほうがよい。	達成する	達成しない

＜地域とボランティア等について＞

(28) ボランティア活動は自分たちの組織だけでなく、地域の人や他の組織と協力して進めることが必要だ。	達成する	達成しない
(29) ボランティア組織は、積極的にボランティア活動の企画を提案すべきである。	達成する	達成しない
(30) ボランティア活動は身近な地域で行うべきである。	達成する	達成しない
(31) 一緒にボランティア活動する仲間と連帯感を持つような交流会などの仕組みが必要だ。	達成する	達成しない

※※※※※ ご協力ありがとうございました。団体名、ご担当者名をご記入ください。 ※※※※※

団体名 ()
 連絡先 (TEL: - - - FAX: - - -)
 (E-mail)〒 / 氏:
 ご担当者名 ()

※※※※※ V活動ツールを導入している他の団体を知っていたら、教えてください。 ※※※※※

団体名 ()
 連絡先 (TEL: - - - FAX: - - -)
 (E-mail)〒 / 氏:
 V活動ツールの名称 ()

※尚、V活動ツールを使っての活動の報告文書や、紹介配架がありましたら、コピーと一緒にお待ちしております。